

科学の推進による、一人一人のwell-beingの達成

国立心理科学研究所構想 の推進

2026年

3月16日(月)13:00~16:10

人の心を理解し、一人一人がよりよく生きる(well-being)社会を実現するためには、心の共通性と多様性を科学的に捉えることが重要です。近年、遺伝子研究の進展により、人に共通する身体のおくみや個人差の理解が進んできましたが、心の働きについては、研究成果が分野ごとに分かれて蓄積されているのが現状です。こうした知見を統合し、長期的・計画的にデータを集めることで、人の心を体系的に理解し、社会課題の解決につなげることが求められています。

本シンポジウムでは、「一人一人のwell-beingの達成」を目指す国立心理科学研究所構想について議論します。

司会 川合伸幸 (名古屋大学※2)

13:00~ 挨拶と企画趣旨説明

坂田省吾 (新潟医療福祉大学※1)

13:10~ 心理科学研究所構想の概要説明

齋木 潤 (京都大学※2)

14:10~ 東北メディカル・メガバンク計画とデータ利活用の概要

泉 陽子 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)

14:45~15:00 休憩

15:00~ 志向性と未来の前線ー現代のフロンティア

入来篤史 (帝京大学先端総合研究機構※2)

15:30~ 一人一人のwell-beingの達成のためには

片桐恵子 (神戸大学ウェルビーイング先端研究センター)

16:00~ 閉会挨拶

綾部早穂 (筑波大学※2)

※1 日本学術会議第一部会員 ※2 日本学術会議連携会員

オンライン参加の方はこちら(⇒)から
3月15日までにお申込みください。
会場参加の方はお申込み不要です。

<https://forms.gle/57KtvRYC9TAVTx2dA>

会場: 日本学術会議講堂
(港区六本木7-22-34)